

「赤ちゃんのおみみ」改訂内容（案）

①タイトルに副題を追加

「赤ちゃんのおみみ ～将来のすこやかな言葉の発達のために～」

②「早く赤ちゃんに会いたいな！」の流れ図に以下を追加

- ・ 生後の「耳の検査」欄に「検査費用の助成制度」について記載し、積極的な受診勧奨について内容を修正・追加
- ・ 新生児聴覚検査をパスしてもその後、耳のきこえについて気を付けて診ていく必要があることを盛り込む。（耳鼻咽喉科学会の流れ図を参考に、各健診等の場面で気をつけてみていき、異常があれば精密検査機関で検査を受けるような流れにイラストを修正。）

③「赤ちゃんの耳のきこえに関心を…」（新生児聴覚検査の公費負担制度の案内を含む）の記載を新たに追加。

※詳細についてはQRコードでリンクを掲載。

（案）

赤ちゃんの耳のきこえに関心を…

現在、乳幼児健診の間診や診察のときに、耳のきこえチェックを行っていますが、耳のきこえの障害は、生まれつきの場合のみでなくその後の病気などが原因で起こるものがあり、保護者によって見つかることも多いのです。日常の赤ちゃんの様子に注意し、発達に応じて耳のきこえとことばの状態をチェックしてみましょう。

◆新生児聴覚検査を受けましょう

新生児聴覚検査は、みみのきこえ（聴覚）の障害を早い時期に発見するために、出生後間もない時期に実施する簡易検査です。生まれつき耳のきこえ（聴覚）に問題がある赤ちゃんは、1,000人に1～2人といわれていますが、早い時期に異常を発見し、適切な治療や支援を受けることで、ことばの発達等への影響が最小限に抑えられることが分かっています。

東京都内の区市町村では、検査費用の一部を助成する制度を実施しています。お子様の将来の健やかな言葉の発達のための第一歩として、この新生児聴覚検査を受けることをお勧めします。

※新生児聴覚検査についての詳細はこちら(QRコードリンク)

⇒詳細内容のHPIに飛べるようにリンクを貼る